

2018年4月6日

京都教育大学における WWW メールへの不正アクセスによる学外への多量迷惑メール送信について

情報システム総括責任者
岩村 伸一

この度、国立大学法人京都教育大学(学長:細川 友秀)の WWW メールサービスが不正アクセスされ、学外への多量の迷惑メールが送信されるという事案が発生しました。メールを受信し、不快な思いをされた皆様にお詫び申し上げます。今回不正アクセスされた WWW メールサービスおよび学内の他のサービスからの、個人情報の流出の痕跡はありません。

大学としての利用者に対するセキュリティ教育が徹底していなかったことを深く反省しております。今後、法人として、利用者の情報セキュリティ意識の向上に努めるとともに、不正アクセスの防止に向けてシステムのさらなる強化に努めてまいります。

1. 事案の概要

2018年2月10日から11日にかけて、本学が提供する WWW メールサービスにおいて1件のアカウントに対して学外からの不正アクセスが行われ、当該アカウントから学外の約36万件のアドレス向けに迷惑メールが発信されました。不正アクセスの原因は、フィッシングメールのリンクを当該アカウントの利用者がクリックしたことにより、認証情報を窃取されて不正アクセスに使用された可能性が疑われております。当該アカウントから送信された迷惑メールは文面に URL 情報を含むフィッシングメールのものでした。

2. 緊急対応

不正アクセスを受けたアカウントは既にパスワードの変更により、不正アクセスできない状態となっており、2月11日に迷惑メールの送信は停止しております。

3. 今後の対応

今後、本学の教職員ならびに学生に対し、定期的なセキュリティ訓練の実施や、パスワードの運用管理の周知などセキュリティ研修を強化するとともに、学外からの WWW メールサービスの利用方法を見直し、不正アクセスを防ぐ仕組みを導入する予定です。

【お問合せ先】

担当部署:京都教育大学情報処理センター

電話番号:075-644-8340(直通)

開設時間:午前9時～午後5時まで(土・日・祝日を除く。)

メールアドレス:ipc@kyokyo-u.ac.jp